

永きにわたるご功績に感謝します



11月3日、市民会館において「平成26年度 津久見市文化の日功労者表彰式」が行われ、2名2団体の方が表彰されました。

津久見市文化の日功労者表彰



コール 虹（代表 川野和代）（文化功労）

昭和61年、中高年の女性の健康づくりを目的に発足。会員42名は「無理なく、仲良く、楽しく、若々しく」をモットーに、歌を通して仲間づくりを目指すというスタンスで練習を続けています。近年では発表の機会も増え、社会貢献に向けた活動にも積極的に取り組むなど、市内にある7団体のコーラスグループの牽引役としての役割も大きく、その活動や取組みは、津久見市の生涯学習の推進ならびに文化活動の発展に大きく寄与しています。

中津留 弘氏（スポーツ功労）

昭和47年から長年にわたり、戸高少年剣道クラブの指導者として技術の向上と青少年の健全育成にご尽力されました。また平成14年から津久見市剣道連盟会長に就任するとともに、大分県剣道連盟津久見支部代議員も務め、県民体育大会にも監督・選手として27回出場しています。教士7段・居合道5段・杖道5段の資格を取得し、現在も市内中学剣道部の指導をおこなっており、本市スポーツの振興のため活躍された功績は多大なものです。



保戸島婦人会（会長 岩田秀香）（産業経済功労）

昭和26年に発足し、現在20名で活躍中。その活動は島内のみならず、津久見市ふるさと振興祭では第1回より毎年出店し、保戸島発祥の「ひゅうが井」を広く紹介。さらに「おおいたグルメグランプリ」では「津久見ひゅうが井」が2年連続して金賞を受賞するなど、津久見市の食観光の柱である「津久見ひゅうが井」の礎を築き、観光振興に大きく貢献してきたことは、高く評価されます。

石井 和子氏（地域保健功労）

平成2年4月から、津久見市食生活改善推進員として、地元の青江地区や市内全域において食生活の改善に取り組んできました。特に平成20年4月から平成24年3月までの4年間は津久見市食生活改善推進協議会の会長を務め、平成20年から始まった特定健診における生活習慣病予防対策として、食生活を通じた健康づくりや食生活改善など、市民の健康増進のため市が進める推進事業に大きく貢献しました。

